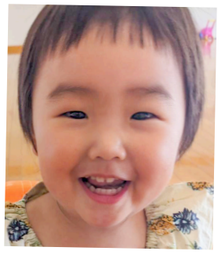
Fukutama ふくち玉手箱

みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

HAPPY BIRTHDAY 10月生まれ



杉田 渚ちゃん 2
R4.10.26生（赤池）

日永田 瑛輝くん 2
R4.10.25生（弁城）

加藤 咲杜くん 2
R4.10.20生（金田）

綾部 愛茉ちゃん 2
R4.10.13生（赤池）

稲垣 絢斗くん 2
R4.10.1生（伊方）

持丸 優翔くん 1
R5.10.3生（赤池）

1歳～3歳のかわいい笑顔あつまれ

申込期限は毎月お誕生月の前月10日（土･日･祝日の場合は翌開庁日）。11月生まれのお子さんは10月10日㈭までに写真かデータを下記窓口に提出するか、町公式LINE（右下の二次元コード先）で手続きし、お申込みください。

※ 写真データがある場合、データを提出してください。

▶ 役場本庁2階まちづくり総合政策課
広報･広聴係　☎22-7766

中村 日比樹くん 3
R3.10.29生（赤池）

横山 大晴くん 3
R3.10.25生（神崎）

斉藤 照奈ちゃん 3
R3.10.18生（金田）

松岡 芙羽ちゃん 3
R3.10.17生（伊方）

古賀 翔煌くん 3
R3.10.17生（金田）

堀田 玲依亜ちゃん 2
R4.10.29生（伊方）

「田川飛翔塾」でジャンボ日髙さん講演

→2泊3日で行われた「田川飛翔塾」。

「田川飛翔塾」の講師に7世代CAMPの日髙将博さんが選ばれ、8月18日に講演を行いました。田川の竹林問題と子どもの孤立問題を解決するためのワークショップを実施。参加者24人は、中学生ならではの発想で解決策を考えました。

「ふくちのち」やわらかポークステーキ作り

→講師の指導のもと調理する参加者。

ふくちのちの「クッキングラボ」で8月18日にやわらかポークステーキ作りが行われました。夏休みの自由研究にもなるよう生のパイナップルの実験料理を企画。14人の子どもたちは、協力しながら調理し、食への関心を深めました。

B&G福岡県大会で福智勢が実力を発揮

→今年も多くのメダル22個を獲得。

B＆Gスポーツ大会福岡県大会が8月24日にみやこ町犀川プールで開かれ、60人が出場しました。福智町からは小学1年生～中学3年生までの15人が参加し、11人が入賞。福智勢が鍛錬の成果を発揮し、好成績を収めました。

地域力を高めるコミュニティ考える研修会

→研修会には、地域の約60人が参加。

町社会福祉協議会主催の「地域づくり研修会」が、8月31日に開かれました。福岡県立大学の村山浩一郎教授や、地域活動を行う住民3人が登壇。地域コミュニティの大切さを訴えながら、地域づくりの課題解消に向けての議論を交わしました。

縁ある小倉城とのコラボレーション企画

→苦戦するお母さんを優しく応援。

小倉城との交流イベントして上野焼協同組合は、夏休み期間中に上野焼陶芸館と各窯元で作陶体験を実施しました。参加者は、作家指導の下「マイ抹茶碗」を作成。「完成した器で堪能する小倉城庭園でのお茶会が楽しみ」と目を細めていました。

みんなの願いと想いを紡いだ「六夜祭」

→感謝の想いを込めた餅投げを実施。

江戸時代から続く「六夜祭」が8月31日に原田集会所で行われました。厄払いとみんなの健康を願い始まったというこの祭。約200人の来場客は地元住民のカラオケやダンスなどの演芸会を楽しみ、大盛況の一日となりました。

妙安寺で祖先に感謝を込めて送った盆踊り

→約60人の住民のかたが踊りに参加。

地元青年団主催の「上金田地区盆踊り」が8月15日に妙安寺で行われました。時間が経つにつれ、やぐらを囲む輪が大きくなり、太鼓や唄に合わせて、華麗に舞踏。地域住民が祖先にそれぞれの感謝の思いを込め魂を送り出しました。

障がい児にプール開放「バリアフリーデー」

→2日間通算で約2700人が来場。

障がいがある子どもやその家族たちに田川市市民プールを開放する「バリアフリーデイ2024」が、7月7日と9月1日に開かれました。初開催以降、初めて年2回開催された本企画。参加した家族たちは、気兼ねなく安心して水遊びを満喫しました。